

**全国有力100社
アンケート調査**

「やや弱気」が56%で最多 「弱気」は17%、弱基調回答73%に

3月の鉄スクラップ相場動向

弊紙実施の100社アンケート「3月の相場動向」の結果がまとまった。全体(電炉、商社・シッパー、市中業者、全ての合計)の結果は、「やや弱気」が56%で最多だった。「弱気」は3番目に多く17%で、全体の73%が弱基調の回答だった。2番目に多かったのは「横ばい」で21%。「やや強気」は4%、「強気」は2%で、強基調の回答は6%にどどまった。

◆業種別～電炉メーカーは8割が弱基調

業種別集計では、電炉メーカーは「弱気」が50%でトップだった。「やや弱気」は30%と、弱基調の回答は8割を占めた。残り20%は「横ばい」だった。商社・シッパーは、「横ばい」・「やや弱気」・「弱気」が31%で並び、弱基調の回答が62%となった。「やや強気」は7%だった。市中業者のトップは「やや弱気」で、66%を占めた。「弱気」は8%で、弱基調回答は74%に達した。「やや強気」と「強気」はいずれも3%だった。

◆地域別～各地域とも弱基調が6～7割

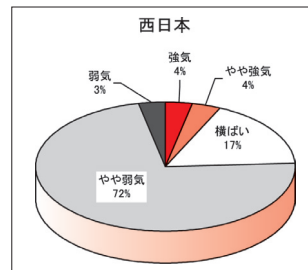
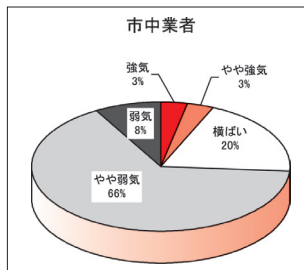
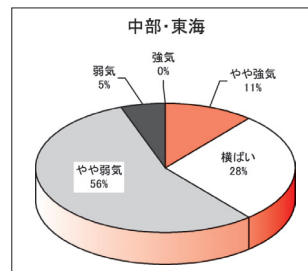
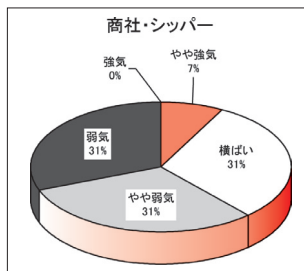
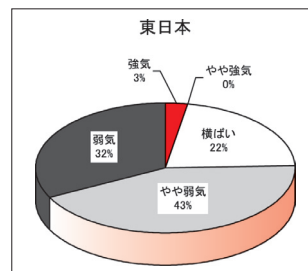
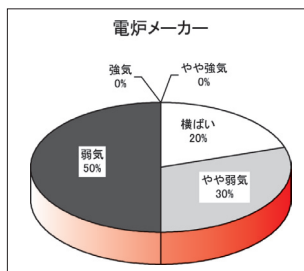
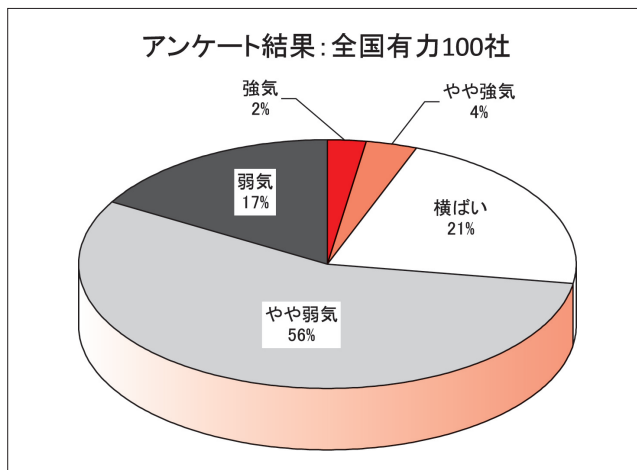
各地域とも弱基調が6～7割を占めた。

東日本のトップは「やや弱気」で43%、2番目は「弱気」の32%、次に「横ばい」が22%で続いた。「強気」は3%だった。中部・東海のトップは「やや弱気」の56%だった。2番目は「横ばい」の28%。以下「やや強気」が11%、「弱気」が5%と続いた。西日本は「やや弱気」が72%でトップ。以下、「横ばい」が17%、「やや強気」と「強気」が4%ずつ、「弱気」が3%だった。

<個別コメント(一部)>

- ・鉄スクラップ市況は13年ぶりに2月下げとなった。メーカーの清算、雪害被害など大きな環境変化が起きている。当面、強材料は全く見当たらない状況。
- ・韓国の輸入価格も落ち着き始め、台湾およびベトナムからの引き合いも始まった。台湾向けのコンテナ屑も少し反発し、米国内相場は値下がり予想だが、発生量が少なく、電炉の稼働率も高位安定しており、それ

程心配ないと思われる。日本国内は東鉄の輸入屑到着を控えているため、多少の値下げは有り得るが、底値は近いと思われる。



Innovation for further growth
製鋼原料卸・計量証明事業

株式会社 **ミヤザキ・メタルサービス**

<http://www.miyazaki-metal.com>

本社 大阪市淀川区三国本町1丁目17-19
TEL(06)6393-8401(代) FAX(06)6399-0313

野中工場 大阪市淀川区野中北通1-1
TEL(06)6393-8027

三重支店 三重県伊賀市予野4938-120
TEL(0595)20-1601 FAX(0595)20-1602

エコ・リサイクルラボ 三重県伊賀市予野4949-15

【全国有力100社アンケート調査概要】

■回答方法:3月の鉄スクラップについて「強気」「やや強気」「横ばい」「やや弱気」「弱気」から選択回答
■対象:100社(業種別:メーカー12社、商社・シッパー16社、市中業者72社)(地域別:東日本40社、中部・東海20社、西日本40社) ■調査期間:2月24日～3月4日 ■回答率:84.0%(東日本92.5%、中部・東海90.0%、西日本72.5%)